

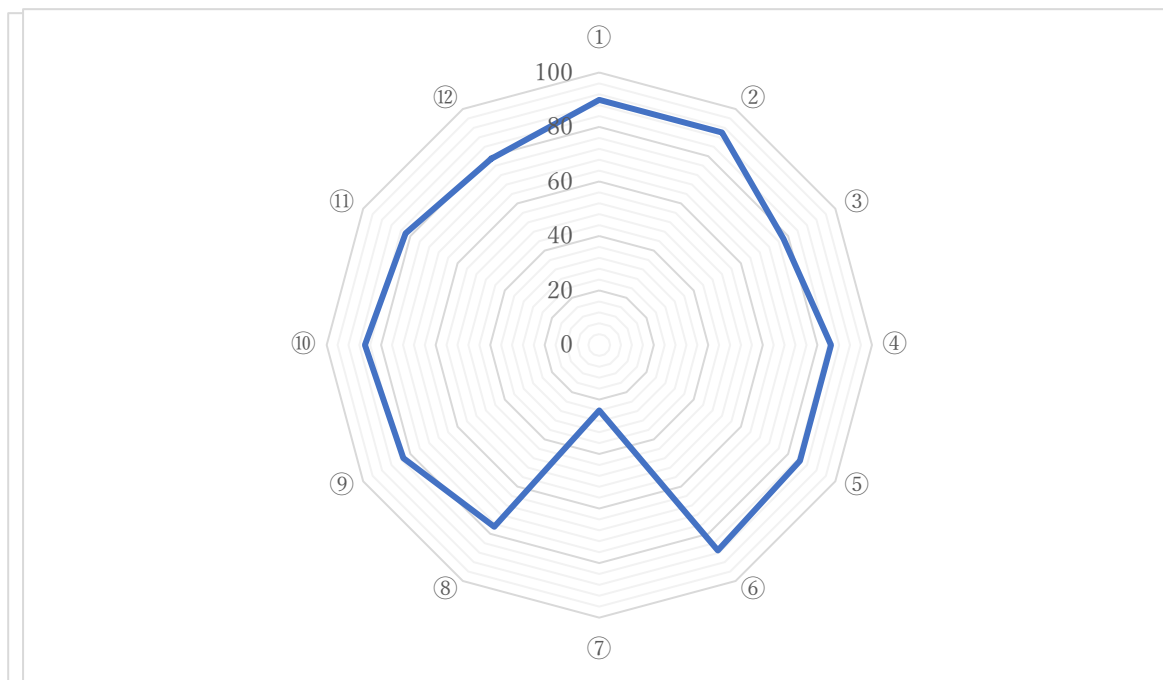
自己評価集計結果

<評価方法>

評価を4段階とし、項目を①~⑫に分け、それぞれの合計点をだす。

下記の集計表及びレーダーチャートは、回答した保育者の点数の平均点を表示している。

		R4 12月 回答数 8名	R4 2月 回答数 6名
評 価		平均点	平均点
I 保育の基本的 理念と実 践に係る観点	① 子どもの最善の利益の考慮（6項目）	90	94
	② 子どもの理解（9項目）	90	83
	③ 保育の環境（人・物・場）の構成（7項目）	78	86
	④ 保育士等の子どもへの関わり （援助・行動・言語・位置・タイミング・配慮等）（7項目）	85	90
	⑤ 育ちの見通しに基づく保育（8項目）	85	85
II 家庭及び地域社会との連携や 子育て支援に係る観点	⑥ 入所する子どもの家庭との連携と子育て支援（8項目）	87	97
	⑦ 地域の保護者等に対する子育て支援（4項目）	24	38
	⑧ 地域における連携・交流（4項目）	77	58
III 保育の実施運営・体制全 般に係る観点	⑨ 組織としての基盤の整備（8項目）	83	89
	⑩ 社会的責任の遂行（3項目）	86	96
	⑪ 健康及び安全の管理（12項目）	82	89
	⑫ 職員の資質向上（6項目）	79	77



まとめ

⑦「地域の保護者等に対する子育て支援」については、コロナ禍のなか外部の受け入れが難しいこと、また保育の人員不足もあるため進められていない。来年度は定員の変更を行い、また保育の人員の確保が出来れば取り組んでいけると思われる。⑧「地域における連携、交流」はイベントも縮小しているため招待することも出来ずにいるが、来年度は鬼火焚きや消防訓練など、屋外の活動から地域交流を予定している。小学校との交流はこちらの意向が小学校に伝わらないところもあり（コロナの影響もあって）、担当を決めるなどして考えを伝えていくようにしたい。人員不足のため子育て支援員といった非常勤職員が会議に参加できないため保育の運営内容等の細かな説明ができない状況であるが、時間を作り参加してもらうことで、丁寧に説明していき、職種に関係なく理解してもらえるよう働きかけていくようにしたい。